

衆議院解散権は首相の伝家の宝刀か : 京・江戸・博多、そして巴里 : 19

南野, 森
九州大学大学院法学研究院 : 教授

<https://hdl.handle.net/2324/7236799>

出版情報 : 福音宣教. 77 (8), pp.10-11, 2023-08-01. Oriens Institute for Religious
バージョン :
権利関係 :





1953年3月14日の衆議院本会議場。解散詔書が読み上げられ、衆議院議員が万歳をしている。解散には俗称の付けられたものが多く、このときの解散は、吉田茂首相の議会における不適切発言がきっかけとなったことから「バカヤロ解散」と呼ばれることが多い（「アサヒグラフ」1953年4月1日号）。



京・江戸・博多、そして巴里

南野 森●憲法学者

19 衆議院解散権は首相の伝家の宝刀か

広島に世界のリーダーが集まり、ウクライナのゼレンスキー大統領までが駆け付けたサミット（5月19日～21日）が終了した。英米仏という核保有国を含むG7の首脳が揃って広島平和記念資料館を見学し、原爆死没者慰霊碑に献花をし、韓国大統領と岸田首相は韓国人原爆犠牲者慰霊碑にも揃って献花をした。核兵器廃絶に向けての前進が見られなかったことや、依然として「核抑止論」の前提を動かせていないことなどには、かえって広島の名を汚すという批判もあったが、各国首脳が広島に実際に集まった（そしてカナダ首相は2度も資料館を見学した）ことは、少なからぬ意味があつたと評価することもできるだろう。

サミットの前後、報道はサミット一色になり、岸田首相の露出も増えた。そのせいか内閣支持率は急上昇。毎日新聞の調査では、1ヶ月で支持率が9ポイント上昇、不支持率（46%）と支持率（45%）が拮抗する結果になった（旧統一教会と自民党の関係に注目が集まった昨年8月に内閣不支持率が支持率を上回って以来、最高の支持率となった）。

するとにわかに「解散風」なるものが永田町を吹き始めたという報道が現れるようになった。現在の衆議院議員の任期は2025年10月30日までであるが、にもかかわらず、岸田首相が通常国会の会期末である6月16日頃に衆議院を解散するのではないか、という観測記事がちらほらとマスコミに登場するようになったのである。

ところがその後、首相の長男で首相秘書官を務める翔太郎氏の「公私混同」批判や、マイナンバーカードのさまざまな「欠陥」の露見などにより、内閣支持率は急落。東京では自民・公明の選挙協力関係にヒビが入り始めたこともあり、このタイミングでの総選挙はリスクが大きいのという判断が優つたのか、こんどは解散は秋以降に先送りという政治記者の予想がメディアを賑わせている。

そもそも解散とは何か。それは、衆議院議員の全員を、その任期満了前に、一斉にクビにすることである。衆議院議員の任期は4年（憲法45条、参議院議員の任期は6年（46条）であるが、衆議院議員だけは、首相が好きなときにその任期を一方的に打ち切ることができる。解散の時期については嘘をついても良いとか、いつ解散するかは首相の頭の中を覗かないと分からないとか、メディアでは、解散は首相の専権事項、「伝家の宝刀」などとも言われる。

しかしこれはどうもおかしい。政府・与党を仕切る首相がその強大な資金力や情報収集力を背景に、自分たちにとって一番都合の良いタイミングで選挙を実施できるなら、野党はおそらく選挙では勝てない。有利、不利にかかわらず、定期的な、任期というものにに応じて選挙が行われるからこそ平等であり公正であると言えるはずで、選挙という戦いに参加する当事者の一方がその戦いを実施するタイミングを好き勝手に決められるなど、とても公平な戦いとは言えないことは、火を見るよりも明らかである。

なのになぜ解散権は首相の伝家の宝刀などともてはやされるのだろうか。そんなことで良いのだろうか。次回、この点を考えてみたい。



みなみの・しげる●九州大学法学部教授。京都市生まれ。洛星中・高等学校、東京大学卒業後、同大学大学院、パリ第10大学大学院を経て、2002年九州大学助教授、14年教授。AKB48の山内奈月との共著で好評を博した『憲法主義』（PHP文庫）ほか著書多数。